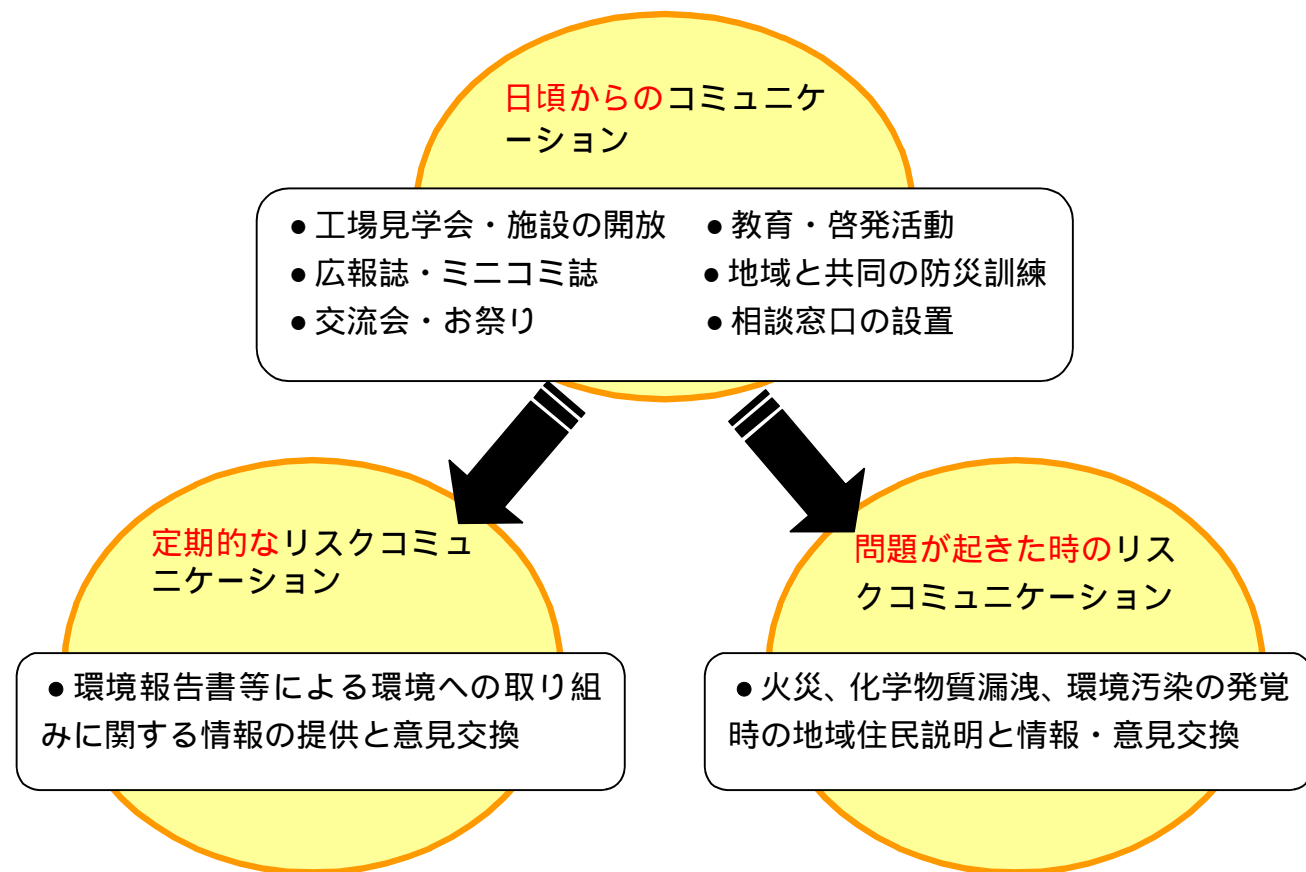


日頃からのリスクコミュニケーションの充実

事業者と地域住民などが、日頃からのコミュニケーションにより信頼関係を築いておくことで、具体的な問題が起きた場合のリスクコミュニケーションを円滑に行うことができます。



リスクコミュニケーションのやり方は一つではありません。様々な発想や意見を取り入れながら、その事業者らしい、その地域らしいリスクコミュニケーションを推進しましょう。

詳しい内容は、ホームページ掲載の手引書「-なごや発-リスクコミュニケーションのすすめ」をご覧ください。

問合先: 名古屋市環境局地域環境対策課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話番号: 052-972-2677(ダイヤルイン)

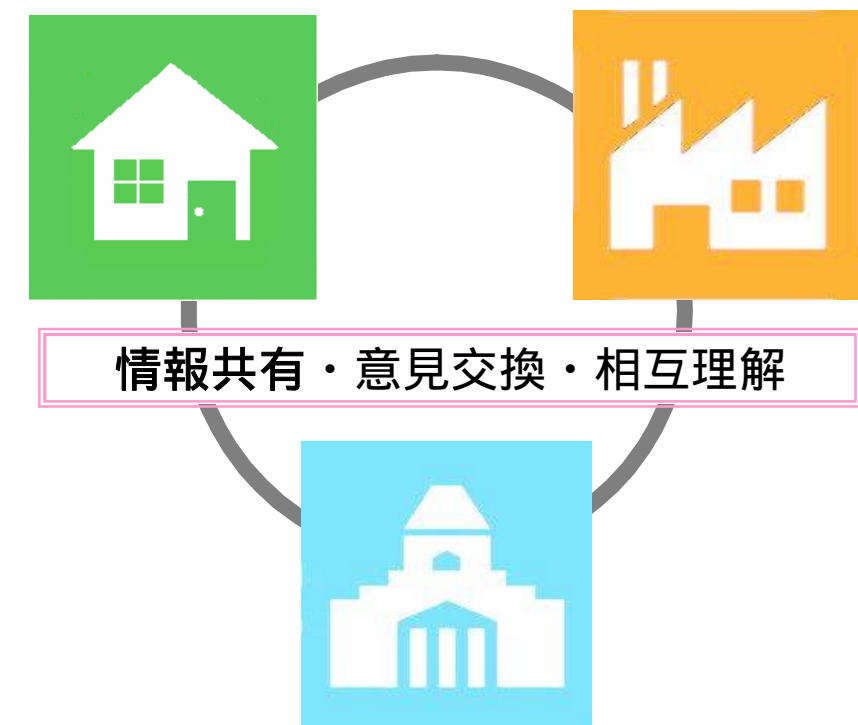
電子メールアドレス: a2677@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

ホームページ: <http://www.city.nagoya.jp/jigyou/gomi/kankyohozen/kogai/kagaku/>

(名古屋市公式ウェブサイト「なごやの化学物質情報」)

—なごや発—

化学物質のリスクコミュニケーションの すすめ(概要版)



～化学物質を取り扱っている事業者の皆様へ～

- 知っていますか？
市民が事業活動に対して抱いている不安
- 知らせていますか？
環境のために努力していること

市民と事業者がお互いのことを知ろうという気持ち、それがリスクコミュニケーションの第一歩です。

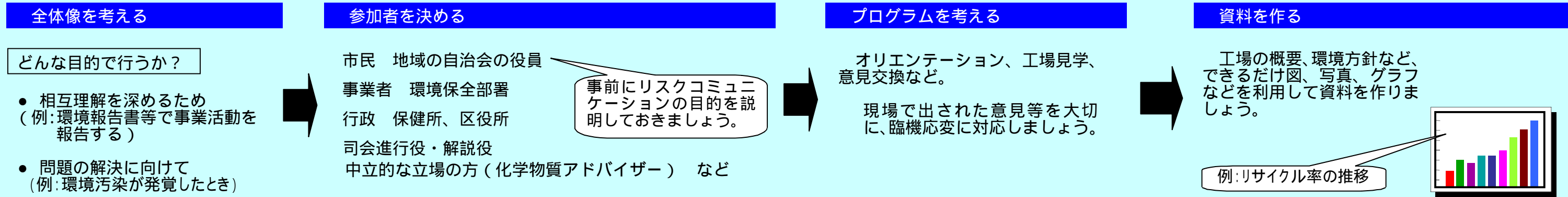
市民、事業者、行政が一緒になって、安全で安心な地域づくりを目指しましょう。

名古屋市

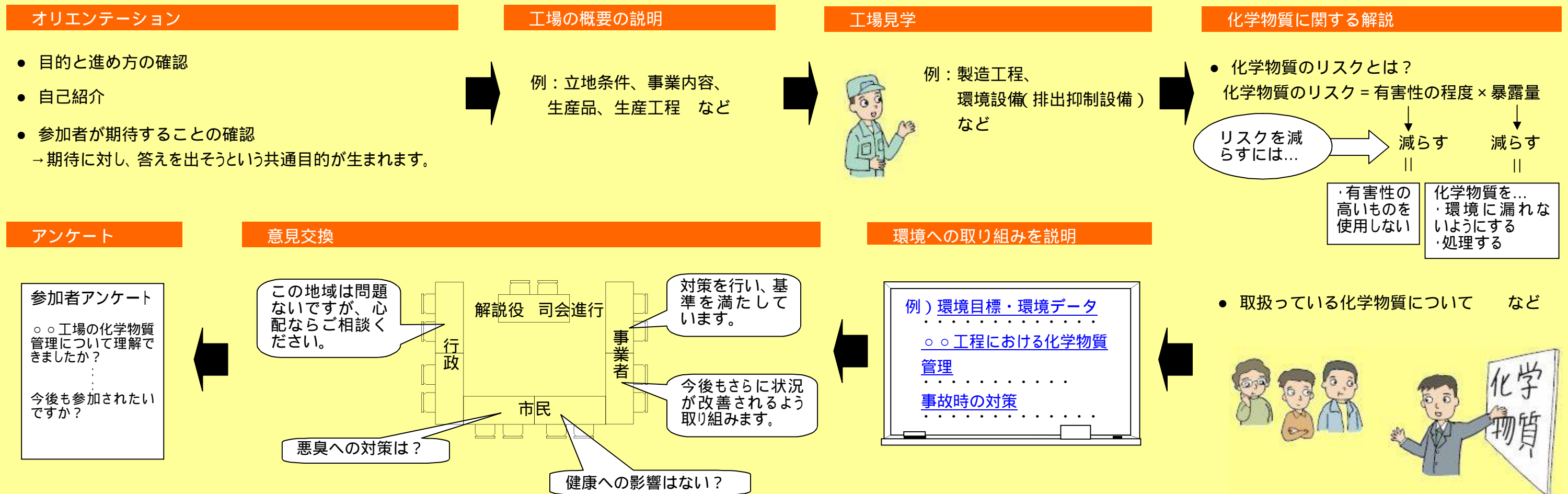
やってみよう！リスクコミュニケーション

化学物質による環境汚染を防止するためには、環境リスク（環境リスク＝有害性×暴露量）を管理することが重要です。リスクコミュニケーションでは、市民、事業者、行政などが化学物質に関する情報を共有し、意見交換などを通じて相互理解を深め、問題や行為に対して理解と信頼のレベルを上げてリスク低減に役立てることが期待されています。

準備



本番



まとめ

